

週刊 経済時事

発行所 平市八幡小路32
経済時事社
主幹 田原登
電話(呼) 4874
毎週 土曜日発行
定価3ヵ月 百円

原案を可決 平市

平市六月定例会は去る三十日 沢久一郎、鈴木秋光(前) 鈴木開、志賀副議長が議長席につ 剪(前)四氏に表彰状伝達、卅 四年追加予算(千三百八十二 千円)ほか十五議案を委員附託 として、前伊藤助役の退職金百八 十七万円を決議した。引続き一 日まで審議した結果本会議を開 き原案を可決した。なお開期中 諸橋市長から世界恒久平和を美 現するため、世界連邦建設の趣 旨に賛同し永遠の平和市である ことを宣言し市会の同意を得た ほか、昭和廿年に空襲を受け犠 牲者となった材木町御田太郎(八 氏一家十名、一歳の校長の二名 十六%)に接近し目撃し躍進 の十二名の十三歳忌法要を営む 振りを認めている。

10周年記念式

平商工会議所 平商工会議所創立十周年記念式 典は来る七日午前九時から同所 ホールで開き、功労役員、職員 と日本水素、クレハ化学が工 業場、りん鉱石の輸入陸揚げと 従来京浜港を利用していた船が 小名浜港に切替えたこと、塩化 カリの輸入が昨年七月から取扱 われているため昨年同期はゼロ だった。また過りん酸石灰の輸 出が中貿易の絶えず不振で台 湾向けが僅か六千トンだった。

貿易量急に激増

上半期 小名商港の実績

海の玄関、小名浜商港は国際港 七百九十八トン、取扱額九億 九千九百九十九万円で昨年同期 比で一・六倍の増加を示した。一 月一六日の今年の上半期に比し 三万六千五百四十六トンの 貿易物の取扱数量が著しく二 億二千三百七十五万九千九百 九十九と激増した。これによる 九万九千九百九十九と激増した。

東北六県商業教育研究大会

東北六県商業教育研究大会は来 月十日から三日間平商で開く。 初日は午後二時から東北六県商 業高等学校長会議、二日目は九 時から各商業校の研究発表と協 議、一日大教授大平善吾氏の記 念講演、最終日は市内の商店 街を始め炭炭、炭炭、炭炭、炭 炭、炭炭の火力発電所、小名浜港 など産業を見学する。

建設の驛衆民

順調なら 卅六年の春に完成

更にデパートならう二人男
常磐線の電化に備えて平市内にデパート建設の話があらに持ち上り、中央の 西武がひところ話題に上ったが最近ではその影をひそめた。これに刺さった 西武もあるまいが、平駅が古く時代物となり改築の必要に迫られたのとタイア ップして商店有力者との間にタイミナルデパートにすることに決り、諸橋市長を会 長に「平民衆建設促進協議会」を結成。来年度国鉄予算をとる運動を展開するこ とに決ったが、一方は単独で本格的デパートを建てたいと狙っている者もある。 近年くんぐん伸びて来た大黒屋社長馬目勝次郎氏、平運輸社長猪狩四郎氏らが話題 に乗っているがまだプランを発表する段階ではないが、大黒屋は「もう」と民衆 駅建設より前に着手するのではないかと見られ、宛らデパート建設競争の感を呈 し話題を賑わして来た。

石炭業界危機に立つ

保護政策実施せよ

危機突破対策委員会を結成

石炭業界は夏場を迎えて危機 炭田には大小七三の炭田がある 富者、労組代表など関係者もく ととなり、諸橋市長を会長に 五十名は真石炭事務所集り、 石炭危機突破対策委員会を結成し、 決議文を採決。役員は次の通り ▼会長 諸橋久太郎▼副会長 赤津一、鈴木栄一▼常任委員 磯野清治ほか十三名▼超智英 勇ほか十九名▼幹事 橋本勘 一▼庶務 山崎賢助

工場愈々建設

三年來の懸案となっていた平冷た。近く着工し来年のサンマ漁 凍製氷工場と罐詰工場は真急進 期までには完成させる予定、坪 が主として建設計画を進めて 数は約千八百三十四平方(五 五五坪)の鉄筋コンクリート工 事、罐詰工場を第二期工事 ロック建で、製氷冷凍施設が千 の予算で平市市街市街市街市 街に建設することに大体決定し が五百七十四平方である。

無免許運転 者には実刑

自動車やバイクの無免許運転に 九日関係市町村長、議長、石炭 関係者から平石炭支局、東部石 炭協会、東部石炭運、炭炭、炭 炭は反省しないのに鋭み実刑を ったもの。

贈 三

平観光協会

会長 諸橋久太郎
副会長 山崎賢助
同 大泉信雄
同 野崎理夫
顧問 野崎満蔵

祝 週刊 経済時事 発行

元衆議院議員 関内正一

衆議院議員 木村守江

市の年收一千万圓

市場。魚市場は丸一屋、四丁目横着な小売屋は市場をぐるぐる（ニンベン）（四丁目）マル仙（）廻って借り倒して、野菜市場は大工町、ヤマ平（ネギ町）のこけでもコゲつきが二千万円にもれも四つ、合計八つの市場がある。上ってやれ切れなくなつて来てる。この市場から小売屋が賣つて来て、それが市民大衆の口に入る。そして消費者は大した不満もぶちまけてはいない。き安く上等の物が入らないうの利益が上る。だからこのう

県文化財の資格充分

文教技官大教授太田博太郎博士、中央文化財保護委員会事務局建造物課伊藤延郎の両氏は去る廿六日來平、平市八幡小路阪野八幡宮（宮司飯野盛男氏）の本殿を調査した結果、同神社は慶長十九年正月廿八日に全焼しその後六十年を経て延宝元年にあるのを発見。縁起書をさかのぼること五十八年前、今から三百四十四年前の二代將軍徳川秀忠時代のもものと判明、建築様式もその時代のもので、異指定文化財の資格は勿論、国宝としても中クラスの価値があるものと認められた。

許可の自信充分

場

衆も利益

ち三千万円位を市の収入とし残りの四、五千万円を経営費にすればよい。

市営市場は敷地三千坪ぐらゐで足り冷凍設備は五十坪ぐらゐあれば間に合うので大した金はかからない。仙台市では既に興経

二宮尊徳の遺訓

彼は幼少より他家に奉公した
あらゆる艱難辛苦を積んだ
だけあって、人を見ぬこと
人を使うことも妙を得てい
る。このときはすでに六十ぐら
いの役夫があつて、一日中木の

と云ふ物并井村で開墾のとき、ひととちこの場であつて指揮役の人が、ひとりすくれて一命命に働いてゐる役夫を見ては、彼が早くこの役夫を賣にばせよと待っていたのに、ほろ／＼してから彼は、その役に向かつて「おきまへは俺をあなたか」として、このような働根はかり掘つていた。人が休んでも休まず、人が休めといへばその老人は「若い人は休んでも一日の働きに余りがあるが、わたしはすでに年をとつて力も衰へてゐるので、若い者といつしよに休んでもいたら、なんの役にたたんから」と答えた。他の役夫はこれを見て、「あの人は毎

書道界の大御所

佐々木坡唐氏



書道界の大御所佐々木坡庵氏を打ち込み鍛え上げた結果で、(平市堂根町北が書道会)は日天分に思われたとは云えこの道展にも数回入選して居り、東京で今日を築き上げるまでには生の回覧会の審査員にもなっている。活との苦しい闘いも続いたこと。今や押しも押されぬ大当。

家として認められている。そのこの地方での大御所たるユエ
芸術的な書風は芸道一本に精魂は彼の発行している月刊雑誌

「白が」が百卅号に達しその読時は雅趣に富み、正にその時代者が全国に跨がつて五千五百人相を表している。

すなわち五千五百人の弟子が居る」と云うことで証明されよう。でつぷり肥った体。白髪まじりの頭髮をオールバックにしてた然と坐した姿。静かに控え目に語るところ正に大家の風格が備わっている。中国三千年興亡の歴史は書風に歴然たるものがある。最近からだの具合が少しあるとその書を見せられたが、戦乱時代は書風が荒み、平和なるそつだ。

ない。これまでの通商手帳も多く消費されたと宣伝する同会もあるのだが、それは誤解であり、三十一年度は四十万円、三十二年度は八十万円、三十三年度は百万、合計二百廿万円でありこれは調査費でむしろ少な過ぎる額だ。静岡市営バスが昨年六月申請を却下されたので悲観説をとなえる向もあるが静岡市は市内交通で規模が小さく、事業計画も地理的条件も需要密度も五市のそれとは本質的に大差があり比較

間線 平一 好問(小川循環線)
平一 小川郷一 赤井 平(7)四倉線
平一 草野 四倉(夏井線) 平一
夏井 清澤橋(小名浜線) 平一
上矢田 御代 小名浜(勿來市
内循環線) 植田一 仁井田 川部
一 堀田 勿來駅 安良町 植田
の十系統 百九十七キロ、一
日の運行日数は好問線の十八回
を最高に百七十回となつてゐる。
また事業資金は八千八百万円の
予定である。

「この藤助と同じように、開墾に
必要な「もっこ」をつくるのにま
妙を得ていて、彼の目鏡にとま
つた男に「もっこ藤藏」といふ
う者があり、これも附近の評判
者であつた。これをみてゐる彼は
人を使つて、妙を得ておられ
たのでなく、むしろ人にを捨て
てなかつたことがわかる。

ないことは五市民の一致した意見である。仙台陸運局でも五市公営バス申請の本質をよく理解してくれた。再建団体の勿来市に対する赤字問題が聴聞会で突っ込まれたような風評があるがこれは勿来市の赤字償が順調に処理されているかどうかの点をただされた程度で大了したことはよ。今までの電力使用が、良

別(田)に十五畝、磐城營業所(愛宕)に二町、勿業所(植田町字町後)に四町、四倉營業所(方二洗)に二畝を配置する。運行系統は(1)片浜循環線 平内郷・常磐・磐城 平(2)勿業線 平内郷・常磐・磐城・植田・勿業・平(3)川平線 平・綴・川平(4)高野線 平・綴・高野(5)好平・大・金を推した上で、男平大、心を感動し、涙を流して合掌がよい」と諭された。老役夫は、おきえの誠実を憐れんでくだし、たまものであると思い、すみやかにもち帰って、食苦をまめぬかと、老を養つてこの一端にする

る。五市合併となり総合開発事業が完成すれば常磐地区は東北の京沢地帯的な輝やかしい発展が期待される。このときに當って既存業者の独占事業にまかせていては充分な交通対策と云えて

ならない。五市が一丸となつていたので許可になる自信があり、計画通り実施すれば黒字経営は確実だ。
 なおバスは三十三両で平営業（千七百一十一千五百）

自信充分
公営バス問題
諸橋重行

市長語る

祝 週刊 經濟時事發行

平商工會議所

専務理事	同	副会頭	会頭
草野四郎	坂井清之助	坂本昌蔵	山崎賢助

受入態勢整う

貸間も百卅家族分準備

海水浴客

客浴海水

愈々暑い夏が訪れて来たので涼しい海浜を求めている中央の海水浴客を誘致しようとする常磐地区観光協会の常磐、水鉄、常磐連絡協、水鉄、常磐交通などで協議の結果これと今年は豊間海水浴場を始め五海水浴場に百家族以上を収容出来る貸間の準備をし遠方からの来客を満足させようとすることにしたほか左の様な準備をして満全を期した。また平市では浴客誘致に宣伝車を具内はじめ東京方面にもくり出した。

初の試みである貸間、貸別荘は一カ月間の豊一畳の貸賃は七百円、二千円程度とし海水浴場附近の住民の疎解を得たが、沼ノ内、薄磯、豊間、合磯で三十七家族分(二五〇名分)、四倉、久ノ浜、永崎、剣ヶ浜で百家族分(五百名分)が決り受入態勢が大体決定した。またヤンパンは鯨川河口、仁井田、久之浜松林にヤンパン、バンガローを新設小名浜海水浴場(永崎)では昨年より条件がよくなり脱衣場十軒を新設する。

七月十九日ごろから臨時列車や海水浴バスを臨時に出す計画も

水石山と無線
電話開通

水石山と電話が開通する。これから同山のゴルフ場や山遊びに行く人が次第に多くなるが、電話がなくて不便だったので常磐地区観光連盟と水石山自然厚生園では七月初めから山頂のク

出来て居り、今年の海は例年にも増して賑うものと見られている。

力行会が出場

天皇杯県下大会
天皇杯野球は去る廿三日品川白
練瓦と地区優勝戦で八対四で勝
った。力行会チームは四、五日
郡山市開成山球場に於ける県下
大会に出場する。

平市旧城跡一

早坂元一

(久兵衛改め)

無許可の牛乳
販売不可

らの通話方法は、Cナダ省（市タ）を呼び出すに水石山と申込めは三分五分で無線で通話が出来る。料金は平局管内なら市内同様七円、山頂からの申込は受話器をとると平局と無線で接続、市外交換手を通じて市内は勿論東京とても通話が出来る。料金は平局管内なら十五円、市外は市外間の料金を十円を加算した料金で大へん便利になったワケ六十軒だけである。

祝 經濟時事發刊

常磐炭鉱福島縣販売株式会社

取締役社長
阿部政右衛門

平市田町二十四番地

東部産業株式会社

代表取締役 菊池泰二郎

平市新川町六番地

二つの世界を一つの平和へ

二つの階級を一つの繁栄へ

力行會報德社

理事社長 野木 捻弥

平市紺屋町十一

報徳物産株式会社

取締役社長 野木 捻 弥

内郷市御厩町上宿

内郷駅前

内郷新聞販売所

馬場義道

電一九五三

湯本信用組合

松本久吉

分 院 平 市 上 荒 川 字 安 草 三 電 4 3 1 9